企業×農福連携

参加費無料

伴走支援プロジェクト

お申込期限

2026年 9/11(金) 12時まで

農福連携の取組開始を検討している企業を対象に、
既に農福連携に取り組んでいる先進的な企業から、
農福連携の取組開始に係る社内稟議を通すための
口頭アドバイスを行う支援です。

お申込方法

申請書をinfo@noufuku.or.jp宛にご提出ください。
募集要領･申請書はこちら↓
https://noufuku.or.jp/projects-of-kigyobukai2026/

支援の概要

01 選定会

伴走支援を受ける候補企業の選定会を開催し、対象企業を**1社**選定します。

※2026年9月下旬決定予定。
※必要に応じて、応募企業へのヒアリングを実施。

02 見学会

実施日:2026年10月5日(予定)

口頭アドバイスと併せて、現場の状況を知っていただくための農場又は特例子会社の見学会を1回実施します。

※伴走期間内に1回。
※旅費は、伴走支援を受ける企業の自己負担。

03 オンラインアドバイス

伴走支援を受ける企業に対し、農福連携等の取組開始に係る社内稟議(※)を通すための**口頭アドバイスを計5回**、オンラインで実施します。

★社内稟議については、必ずしも伴走支援の期間中に通すことを求めるものではないが、少なくとも伴走支援終了後の方向性が明らかになることが必要。

※社内稟議の例

- 特例子会社の経営会議で承認を得る。
- 障害者雇用や特例子会社を管轄する人事総務部門内でコンセンサスを形成する。
- 親会社の経営会議で承認を得る。

支援の内容と特徴

1. 伴走支援における口頭アドバイスの視点 ※一例です

農福連携に取り組む目的・意義
（自社の経営理念/人材戦略/CSR・サステナビリティ方針/SDGs/DE&I推進等との関連付け）

農福連携で雇用拡大するメリット・デメリット
（障害のある社員のやりがい/農業特有の雇用課題/農園型雇用代行ビジネスの問題点等）

収支計画立案の考え方
（初期投資額/運営コスト/想定収益/助成金・補助金の活用見込み/投資回収の考え方）

農福連携の取組内容の選定
（農場開設エリア/栽培品目又は作業内容/雇用予定人数/雇用形態/想定される業務フロー等）

実施体制
（社内推進体制/特例子会社の活用有無/就労継続支援事業所等の外部機関との連携の有無/現場責任者・支援担当者の配置計画）

スケジュール
（準備期間/立ち上げ時期/本格稼働の目途）

2. 伴走支援の性質は、「現状と課題を整理する壁打ち役」とします。

3. 伴走支援の実施方法は設定された時間枠の中でのオンラインでの口頭アドバイスに限ります。支援提供企業には業務の合間でご協力いただくことをご理解ください。また、ドキュメント類の提供も行いません。

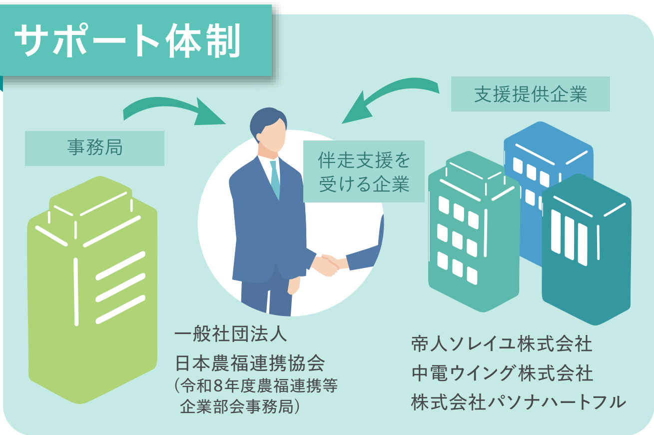
伴走支援ご希望の企業様 募集中!!

対象者

農福連携に取り組もうと考えているが、さまざまな課題を抱えており、その解決策を模索している企業のミドルマネージャー（ミドルマネージャー含む企画チーム）が対象です。

※特例子会社でなくとも可　※事業化等の意思決定者を含むことは大歓迎

サポート体制



伴走支援を提供する企業は、複数社又は1社で実施します。

帝人ソレイユ株式会社	【HP】https://teijin-soleil.co.jp/
中電ウイング株式会社	【HP】https://www.chuden-wing.co.jp/
株式会社パソナハートフル	【HP】https://www.pasona-heartful.co.jp/

実施期間

2026年10月～2027年1月（選定後、4か月程度）

備考

伴走支援を受けた企業は、以下にご協力いただきます。なお、要望があれば企業名を匿名にすることも可能です。
- ●企業が農福連携等に参入するに当たり、参考となる情報を掲載する冊子等の制作への協力
- ●農福連携等企業部会総会での本伴走支援に関する説明

主催　一般社団法人　日本農福連携協会
お問い合わせ　info@noufuku.or.jp

この事業は、農林水産省の令和8年度「農山漁村振興交付金」を活用して実施しています。

ノウフク